

伊勢茶振興に係る三重県の取組

「と、伊勢茶。」から始めよう

三重県農林水産部農産園芸課

伊勢茶振興班

伊勢茶振興計画について

伊勢茶マイボトルキャンペーン

と、伊勢茶。

FROM MIE

①本県の茶産地の現状について

②茶業を取り巻く情勢の変化について

③本県の茶業のめざすべき姿と基本的な取組方向について

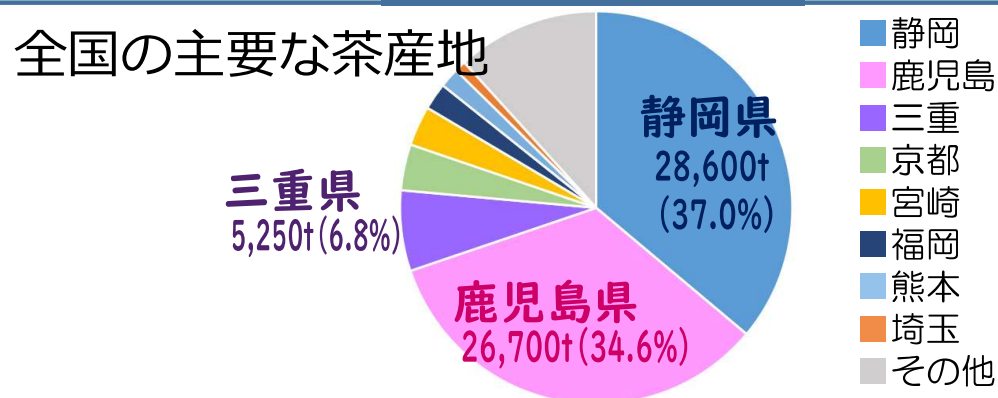
伊勢茶の定義

三重県で生産されるお茶の総称であり、三重県産100%の緑茶

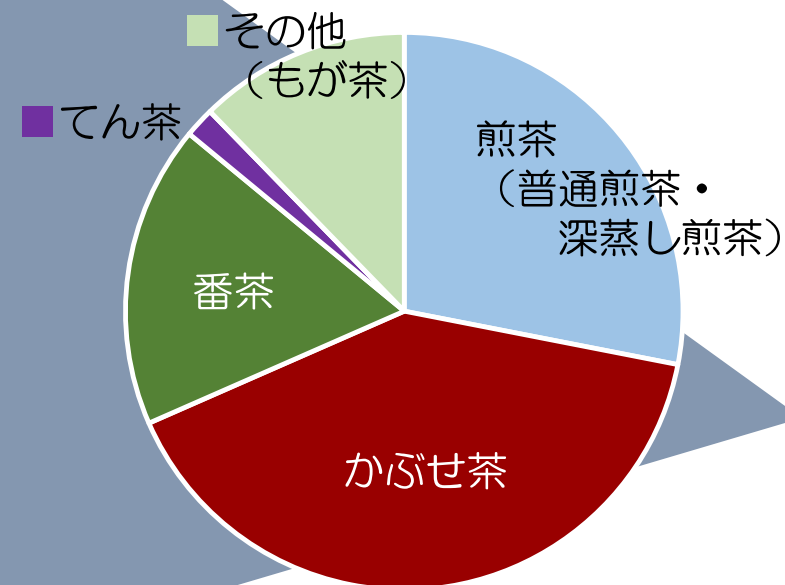
※三重県茶業会議所が地域団体商標(地域ブランド)に商標登録(平成19年4月13日付け)

三重県は
全国**第3位**のお茶どころ

(R4栽培面積 2,590ha
R4生産量 5,250t)



かぶせ茶の生産量は
三重県が**全国第1位**



かぶせ茶とは

**一定期間、日光に当てず栽培した茶の芽
を使って作られたお茶のこと**

⇒茶の芽を摘む7～10日前に、黒いネットで茶の樹を
覆い、日光を遮って栽培する（遮光栽培）



- ・葉の緑が濃くなり、
うまみ成分がアップ!
- ・葉も茎も柔らかくなって、
温野菜としても美味しい



かぶせ茶の芽

煎茶の芽

※ 遮光の度合いや製法により、「かぶせ茶」「玉露」「てん茶」と区別されます。

三重県で作られているお茶の種類

紅茶

烏龍茶

伊勢茶

緑茶

玄米茶は、
緑茶100%ではないので
伊勢茶には入りません

伊勢茶は「三重県産茶葉100%の緑茶」

煎茶

- 普段、もっともよく飲まれているお茶
- 旨みと渋みが調和した、爽やかな味



かぶせ茶

- 寒冷紗（黒いネット）で木を覆い、直射日光を2週間程度避けて育てたもの
- まろやかで玉露に近い風味



深蒸し茶

- 煎茶とほぼ同じ製法で、より長く蒸したもの
- 抽出したお茶の色が濃く、濃厚な味



ほうじ茶

- 番茶や煎茶を強火で炒ったもの
- 苦味が少なく香ばしい



粉茶

- 製造過程でできた、こまかいお茶
- 食べるお茶として料理などに使える



玉露

- よしずで木を覆い、直射日光を20日程度避けて育てたもの
- 渋みを抑え、旨みをいかした高級茶



抹茶

- てん茶を石臼で挽き、粉状にしたもの
※てん茶……玉露やかぶせ茶同様、日光を避けて育て、葉脈を取り除いたもの。



番茶

- 夏・秋に摘んだ大きく固めの葉を原料としたお茶
- さっぱりとした味で、渋みがある



かりがね茶

- 煎茶や抹茶などの加工で除かれた茎だけを集めたもの
- すぐすがしい香りと、さっぱりした味



玉緑茶（ぐり茶）

- 精揉工程を省略した、曲玉状のお茶
- 渋みが少なく、まろやかな味



伊勢茶の主な産地

○地域で様々な特長ある茶種を作っている

北勢地域では **かぶせ茶**

南勢地域では **深蒸し煎茶**

普通煎茶



深蒸し煎茶

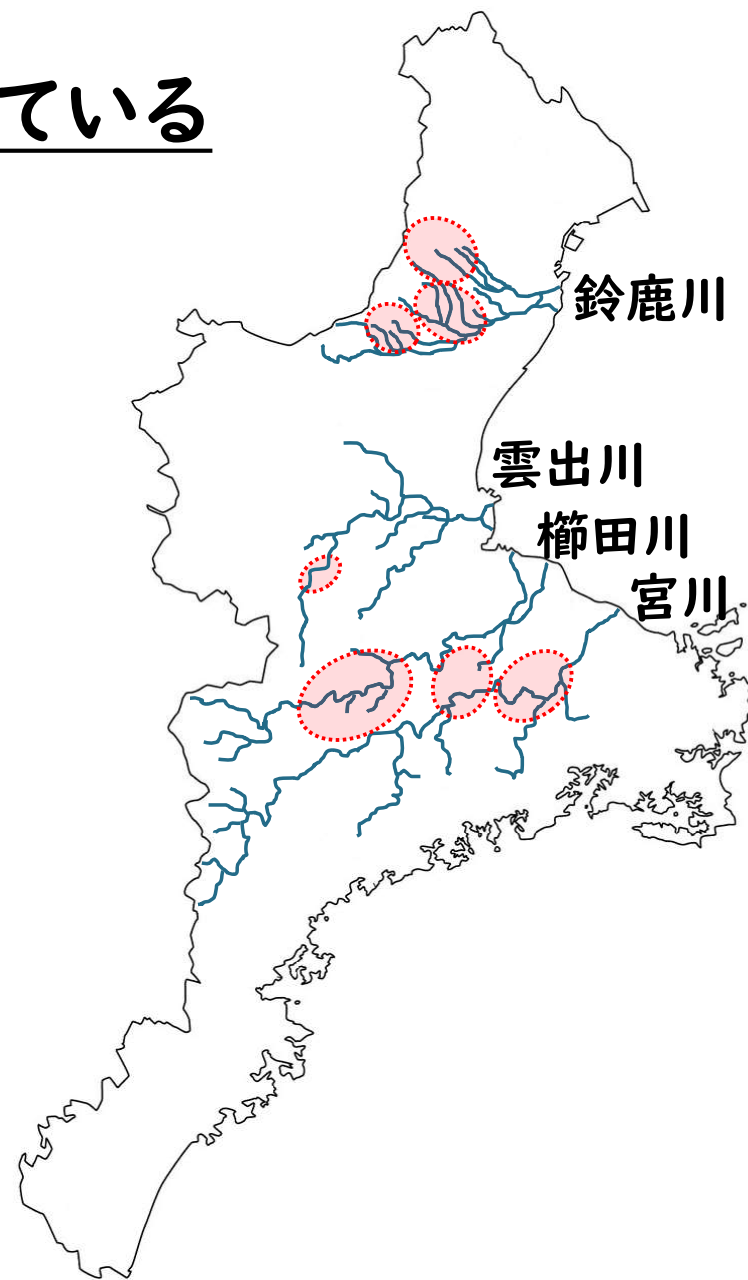


かぶせ茶

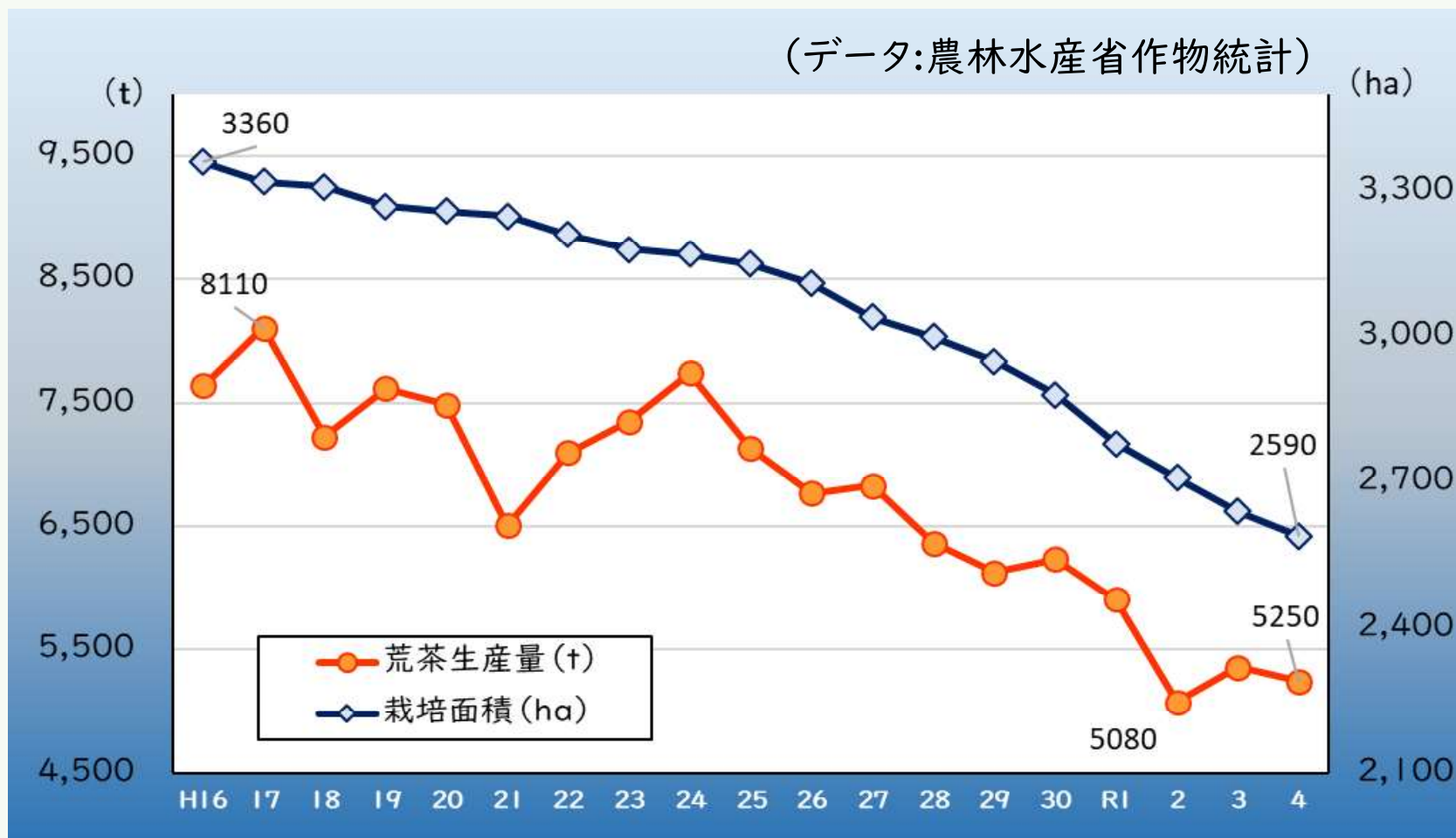


伊勢茶の産地は、県内の主要な河川沿いにあります。川沿いの傾斜地は、水はけがよく茶の樹の栽培に適しています。また、川霧が立つところで栽培されたお茶は、美味しいとされているため、そのような場所で栽培が進められたのかもしれません。

恵まれた土地で育った茶葉は肉厚で、しっかりした味と色が出るので、伊勢茶は、色が良くコクのある濃い味わいが特徴といわれています。

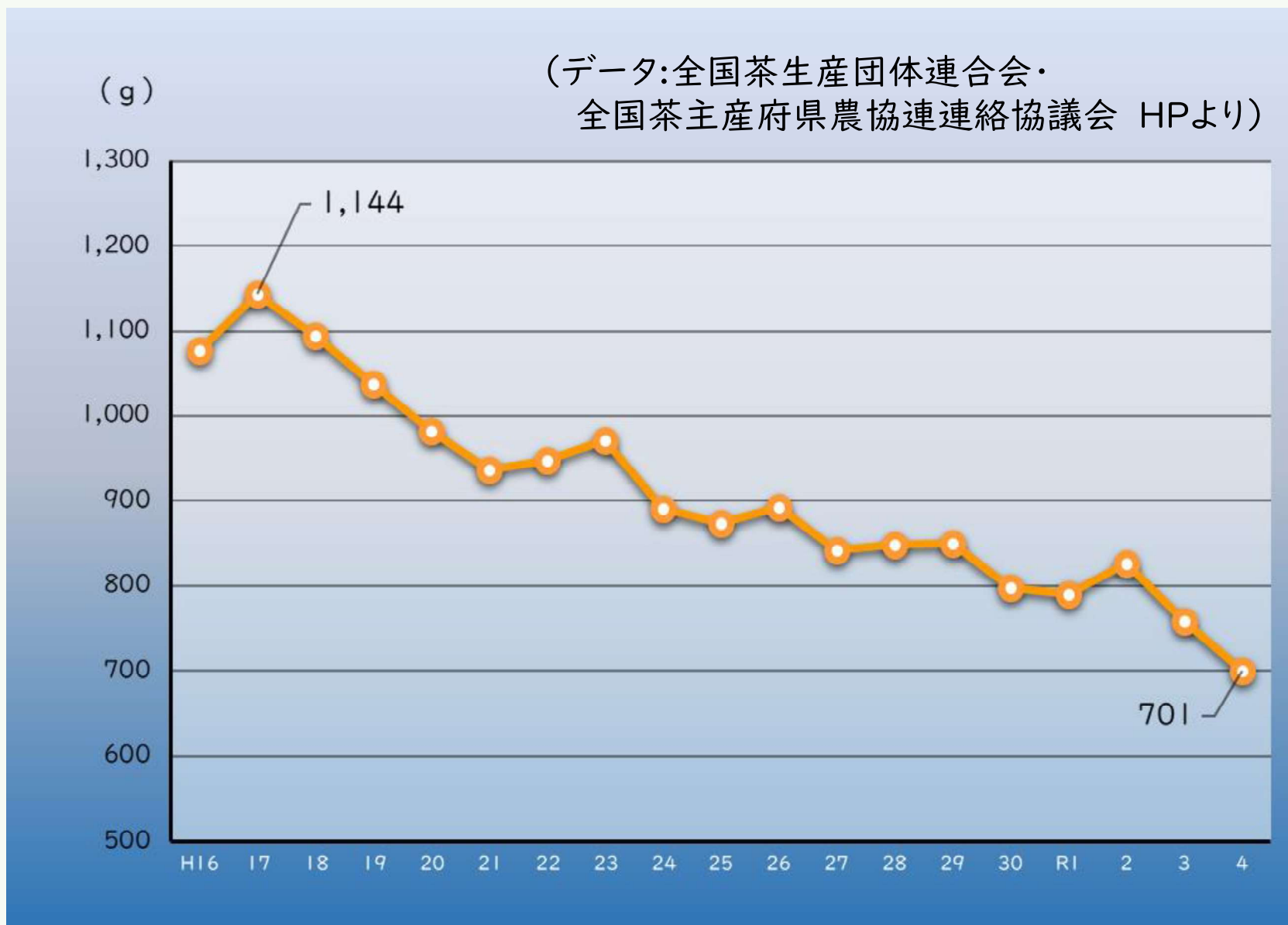


三重県茶業の現状（栽培面積・荒茶生産量）



年度	H22	H27	R2
茶栽培経営体数(経営体あたり栽培面積) (データ:農林業センサス・作物統計加工)	1,480 (2.2ha)	967 (3.1ha)	601 (4.5ha)

三重県茶業の現状（緑茶購入量の推移）



○社会情勢の変化

- ①社会のDXの進展
- ②SDGsの実現に向けた取組の加速化や脱プラスチック、脱炭素化 の取組の進展
- ③テレワークなど、新しい生活様式の定着

○茶の消費動向の変化

- ①茶における消費者ニーズの多様化
- ②消費者の購入先の変化
- ③世界的な緑茶消費の増加や有機栽培茶等の輸出拡大

○気候変動による生産環境の変化

- ①遅霜や干ばつの発生など気候変動への懸念

伊勢茶振興計画

～愛ある伊勢茶元気プラン～

令和3年12月策定

お茶の振興に関する法律（平成23年4月公布）

第1条 目的

第2条 基本方針

第3条 振興計画

都道府県は、**基本方針**に即し、当該都道府県における茶業及びお茶の文化の振興に関する計画を定めるよう努めなければならない。

第4条 生産者の経営の安定

第5条 加工及び流通の高度化

第6条 品質の向上の促進

第7条 消費の拡大

第8条 輸出の促進

第9条 お茶の文化の振興

第10条 顕彰

第11条 国の援助

「茶業及びお茶の文化の振興に関する基本方針」の施策に即した取組のほか、県独自の取組として【持続可能な経営体の育成】や【新規就農者や多様な担い手の確保・育成】といった茶業を担う人材の育成や確保についても明記

伊勢茶振興計画

～愛ある伊勢茶元気プラン～

令和3年12月策定

◆めざすべき姿

- ☑ 意欲ある茶農家の経営が安定している姿
- ☑ 輸出を含めて、伊勢茶の販路が拡大している姿
- ☑ 県民の伊勢茶への愛が深まり、伊勢茶の消費が拡大している姿



◆2つの取組方針



◆取組体制

短期集中的に取り組む重点課題については、関係機関と連携して、3つのプロジェクトを設置して取り組んでいます。

産地構造改革
プロジェクト

伊勢茶輸出促進
プロジェクト

消費拡大県民運動
プロジェクト

I-1 伊勢茶産地の将来を担う経営体の育成と販路の拡大

主な取組

①持続可能な経営体の育成

低コスト大規模経営や多角経営、複合経営などそれぞれのタイプに応じた経営体の育成

②新規就農者や多様な担い手の確保・育成

新規就農者の確保に向けた労働環境や人材育成体制の構築

③生産効率の高い生産基盤づくり

茶園の集約・集積、品種分散等を図るとともに、スマート茶業技術の実証普及、耕作放棄茶園の発生を防ぐための他作物の導入促進

④多様なニーズに対応できる生産体制の整備

国内外の実需者ニーズに対応したお茶の生産体制整備及びGAP団体認証取得推進

I-2 伊勢茶の国内外への流通販売体制の強化

主な取組

①市場の活性化や国際認証を生かした伊勢茶の取引拡大

茶市場における販売機能強化及び国際認証の取得推進

②輸出の拡大に向けた流通販売体制の整備

輸出に対応できる流通販売体制の整備及び伊勢茶産地からの直接輸出体制の構築

Ⅱ 県民運動による伊勢茶の消費拡大の推進

主な取組

①茶業関係者が総力をあげた県内での消費拡大

県職員やJA職員、三重県茶業会議所等の伊勢茶営業マンによる消費拡大運動の展開

②消費者のライフスタイルの変化に合わせた茶の楽しみ方提案

消費者や事業所等におけるティーバッグとマイボトル等の活用促進
茶の機能性を生かした需要の開発

③小売店、飲食店等と連携した地産地消の推進

伊勢茶認証店や地物一番協力店舗、飲食店等との連携促進による地産地消の推進

④県外における伊勢茶の認知度向上

県外の様々なチャンネルを活用した消費者の認知度向上

⑤食育活動の推進

食育の推進による伊勢茶を誇りに感じる県民の拡大

⑥伊勢茶の歴史・文化を通じた茶の魅力発信

博物館など文化施設を活用した伊勢茶の歴史・文化の発信

県民運動による伊勢茶の消費拡大の推進について

①茶業関係者が総力をあげた県内での消費拡大

県職員やJAなど、関係者一体となった伊勢茶営業マンによる県民への情報発信 他

②消費者のライフスタイルの変化に合わせた茶の楽しみ方提案

伊勢茶の新たな需要につながる新商品や新サービスの開発やマイボトルキャンペーンの周知 他

③小売店、飲食店等と連携した地産地消の推進

伊勢茶応援団「Ise Cheers」と連携した継続的な伊勢茶のPR 他

④県外における伊勢茶の認知度向上

三重テラスや様々なチャンネルを通じた県外消費者への伊勢茶の魅力発信 他

⑤食育活動の推進

県内中学校や高校、大学などでの伊勢茶の魅力発信や学習機会の提供 他

⑥伊勢茶の歴史・文化を通じた茶の魅力発信

様々なシーンを通じた伊勢茶の歴史・文化の発信 他

関係者で連携した伊勢茶の発信で消費を拡大

JA全農みえと連携し、みえ応援ポケモン「ミジュマル」とのコラボ商品を発売し、大手コンビニチェーンの県内約400店舗で展開



伊勢茶推進協議会と連携し、FM三重の特番【伊勢茶推進協議会 Presents 「敬老の日スペシャル!そうだ!伊勢茶贈ろう!」】に出演



日本茶インストラクター協会と連携し、伊勢茶の魅力を国際発信するため、G7三重・伊勢志摩交通大臣会合において、冷茶と温茶の試飲会を実施



観光事業者と連携し、バス車内で伊勢茶を提供する試みの実施にあたり、添乗するバスガイドに伊勢茶の勉強会を実施



試飲体験を通じた魅力の浸透で消費を拡大

無印良品イオン津南店が初めて開催したイベント「つながる市」で試飲会を実施し、多くの県内消費者に伊勢茶を振る舞う



鳥羽市観光協会が主催するイベント「九鬼水軍楽市」で試飲会などを実施し、鳥羽市民だけでなく、鳥羽を訪れた観光客に対しても伊勢茶を振る舞う



ヴィソン多気が主催して開催したイベント「伊勢茶フェス」で試飲会を実施し、多くの観光客に対して伊勢茶を振る舞う



歴史あるイベント「鈴鹿さくら祭り」で試飲会を実施し、鈴鹿市民を中心に伊勢茶を振る舞う



伊勢茶新商品・新サービス展開事業を活用して新たな需要を創出

R4は5つの新商品と4つの新サービスの開発を支援

電子決済対応オフィス販売



専用加工茶葉使用ティーバッグ



加工最適粉末ほうじ茶



生産と消費をつなげる体験イベント



伊勢茶とスイーツとのペアリング体験



動物柄一煎ティーバッグ



伊勢茶プロテイン

フィルター付きボトル用
伊勢茶一煎パック

伊勢茶とスイーツとのペアリング体験



R5は3つの新商品と2つの新サービスの開発を支援

アメニティのデザインフォーマット



デカフェ抹茶



氷結氷出し伊勢茶



子供向け茶育プログラム



茶師と巡る伊勢茶ティーツーリズム



伊勢茶応援団「Ise Cheers」と連携して地産地消を推進

R4からメールマガジンの配信を開始 (vol.1~14) R5は18回配信 (vol.15~27)

イセ チアーズ
伊勢茶応援団【Ise Cheers】申込書

※【Ise Cheers】「cha (チャ)」に応援の意味がある「cheer (チア)」を掛けて、名付けました。
「cheers」には乾杯という意味もあり、様々なシーンで伊勢茶の乾杯がみられますようにという意味も込めました。

← Webからもお申込みいただけます。 記入日: 年 月 日

伊勢茶応援団【Ise Cheers】となって、伊勢茶の消費拡大やPRにご協力いただけませんか？

三重県は全国3位の茶どころであり、「伊勢茶」は県を代表する農産物ですが、リーフ茶の消費の減少やペットボトル需要の頭打ちなどから、「伊勢茶」の魅力をより一層発信していくことが求められています。

そこで、三重県では「伊勢茶」を一緒に応援いただける企業様・店舗様を【Ise Cheers】として募集します。【Ise Cheers】の皆様には、PRポスターの掲示やメールマガジンの記事の提供など、できる範囲で「伊勢茶」の応援や、「伊勢茶」振興に関する取組にご協力いただきたいと考えています。

なお、【Ise Cheers】のメンバーは、県ホームページに企業名・店舗名などの情報を掲載させていただきますので、下表の記載をお願い致します。

企業名	公開
ご担当部署	非公開
所在地	公開可：非公開
電話番号	公開可：非公開
Emailアドレス	公開可：非公開
Webサイト	公開可：非公開
従業員数	公開可：非公開
備考欄 (業態や事業内容等)	非公開

※ 提供いただいた情報について、公開を望まない場合は、非公開に○をつけてください。
公開・公開可の情報のみ、県ホームページ等に掲載させていただきます。

伊勢茶マイボトルキャンペーン「と、伊勢茶。」

伊勢茶マイボトルキャンペーン「と、伊勢茶。」は、その主旨にご賛同いただいた企業様と店舗様の二部から成り立っています。これらで、伊勢茶応援団企業・伊勢茶応援店舗として協力いただける店舗に募集しています。伊勢茶応援団企業（Ise Cheers）として応援をお願いします。

伊勢茶マイボトルキャンペーン「と、伊勢茶。」は、その主旨にご賛同いただいた企業様と店舗様の二部から成り立っています。これらで、伊勢茶応援団企業・伊勢茶応援店舗として協力いただける店舗に募集しています。伊勢茶応援団企業（Ise Cheers）として応援をお願いします。

【問合せ先】三重県農林水産部農産園芸課伊勢茶振興班
〒514-8570 三重県津市広明町13番地 電話：059-224-2543 FAX：059-223-1120 E-mail：nousan@pref.mie.lg.jp

小売店と連携して地産地消を推進

マックスバリュ東海で「マイボトルキャンペーン」を掲げて
伊勢茶フェアが開催



R4 6月18日から、県内31店舗で開催

R5 5月20日から、3店舗増えて34店舗で開催

R6 5月18日から、5店舗増えて39店舗で開催

飲食店と連携して地産地消を推進

鳥羽シーサイドホテルでディナープラン「伊勢茶フェア」が開催

新緑の季節、地域の名産品 伊勢茶 をテーマにした創作料理 期間限定ディナープラン「伊勢茶フェア」を開催

三重交通グループの鳥羽シーサイドホテル株式会社（取締役社長：新本竜太郎 本社：鳥羽市安楽島）は、「伊勢茶」をメインにしたディナーバイキングプラン「伊勢茶フェア」を期間限定で開催いたしますのでお知らせします。

新茶の時期を迎えた地域の名産「伊勢茶」を料理のコンセプトに料理長が創作した「伊勢玄米茶のパンナコッタ」「伊勢ほうじ茶のぜんざい」などのデザートや、お料理では「伊勢海産物すずきの伊勢茶塩だれ焼き」「パルボークと伊勢茶の塩釜ロースト」などをご用意し、鳥羽ならではの離島料理も加えた和洋中バイキング料理をお楽しみいただけます。

またフェア期間中は、鳥羽港が目の前に広がるホテルラウンジ「カーボ」（営業時間 8:00～17:00）で伊勢茶を使ったケーキをご提供（有料）いたします。

今後も地域にこだわった食材をテーマにした期間限定ディナープランを開催していく予定です。

記

1. 期 間 令和5年5月8日（月）～6月30日（金）※期間限定
2. 会 場 ホテルディナー会場「ラルジュ」または「シーサイドホール」
3. 時 間 第一部 17:30～19:00 第二部 19:15～20:45 ※ご予約
4. 料 金 お一人様 大人6,800円、小人4,800円、幼児2,200円 ※小児料金別途
5. ご利用 予約制 予約専用TEL0599-25-8181（9時～19時）
6. その他 お席の都合により変更しております ※お席の都合により変更いたします

<ディナーバイキング デザート・料理 一例>



伊勢茶 デザート一例

伊勢茶 料理一例

伊勢茶 パンナコッタ



R5 5月8日から6月30日の約2ヶ月開催

R6 4月1日から6月30日の約3ヶ月開催

様々な県外イベントの場を活用して伊勢茶の認知度を向上

愛知県で開催された食育推進全国大会において、出展されたブースで伊勢茶の試飲会やほうじ体験を実施



関西茶品評会が主催の「交通会館マルシェ（東京都）」で「NPO法人日本Cha茶ちゃ」と連携し、伊勢茶の利き茶イベントを実施



イオンモール熱田（愛知県）で実施された観光物産展「三重県フェア」にて、伊勢茶の試飲やアンケート、伊勢茶ティーバッグの配布を実施



次世代の消費者に向けて伊勢茶の魅力を発信

四日市メリノール学院中学校・高等学校

令和4年10月28日

5年10月26日



皇學館大學

令和5年1月26日 11月22日



鈴鹿中等教育学校・高等学校

令和5年2月9日



海星高等学校

令和5年3月16日 5月22日

6年5月10日



教育機関と連携して学習機会を提供

皇學館中学への出前授業（令和5年3月15日）



海星高等学校への出前授業

（令和5年3月16日、5月22日、8月2日、令和6年5月10日）



高校生が主体となった伊勢茶振興の取組を支援

海星高校 国際数理コース2年生
による、日永小学校3年生に対する
伊勢茶の食育活動



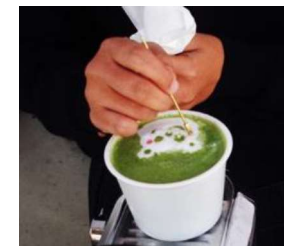
海星高校 国際数理コース3年生
による、F1日本GPでの伊勢茶の
PR



相可高校 食物調理科3年生によ
る、製菓コンテスト優秀作品を通
じた伊勢茶のPR



飯南高校 美術部による、伊勢茶
を使ったラテアートを通じた伊勢
茶のPR



県内各地で歴史や伝統をPRし、伊勢茶の認知度を向上

R4は三重県総合博物館において、伊勢茶の歴史、文化を伝える企画展示を実施するとともに、伊勢茶に親しむイベントを実施



R5は鳥羽マルシェで伊勢茶の歴史をクイズにしたイベントを実施するとともに、伊勢・鳥羽の観光事業者と連携して伊勢茶の歴史文化を発信



①消費拡大

②楽しみ方

③地産地消

④県外取組

⑤食育活動

⑥歴史発信

R4から継続事業

伊勢茶を愛する県民運動
展開事業

伊勢茶マイボトルキャンペーンの定着化に向けて積極的に情報発信に取り組むとともに、新たな商品やサービスの開発を支援



R6新規事業

外食で展開する伊勢茶
ITADAKIMAS事業

伊勢茶の茶葉や共通キャンペーン資材を提供する「伊勢茶利用加速化キャンペーン」を展開し、伊勢茶のメニュー化を促進



R6新規事業

伊勢茶の文化・伝統
伝導事業

航空事業者を含む観光事業者や教育関係機関と連携し、800年以上にわたる歴史を中心とした伊勢茶の特長を様々な媒体で発信



伊勢茶振興計画の推進体制

計画に基づく取組については、県をはじめ、三重県茶業会議所、三重茶農業協同組合、JA全農みえ、JA、市町などが連携し、オール三重で推進します。特に、短期集中的に取り組む必要のある重点課題については、プロジェクトを設置して取り組んでいます。

伊勢茶振興プロジェクト推進会議

【構成メンバー】

三重茶農協 JA全農みえ 茶業会議所 中央普及センター 農研 農産園芸課

活動内容

「伊勢茶振興計画」における重点プロジェクトについて、取組の進捗管理を行うほか、3つのプロジェクトが一体となって伊勢茶の振興に取り組むよう指導する。

産地構造改革プロジェクト

【構成メンバー】

県地域農林事務所
中央普及センター
農産園芸課

活動内容

未来の三重の茶産業のため、地域の茶産地がそれぞれ抱える課題について個別チームを立ち上げ、解決に取り組む。

伊勢茶輸出促進プロジェクト

【構成メンバー】

三重茶農協、JA全農みえ
茶業会議所、農産園芸課

活動内容

伊勢茶産地の輸出対応力強化のため、伊勢茶輸出プロジェクトの取組を県内各茶産地にフィードバックする。

消費拡大県民運動プロジェクト

【構成メンバー】

三重茶農協・JA全農みえ
中央普及センター・農研
茶業会議所・農産園芸課

活動内容

伊勢茶の消費拡大を効果的に進めるため、関係機関が実施する取組の情報共有や連携強化に取り組む。

伊勢茶振興プロジェクト推進会議活動実績

月日	場所	内容
令和4年 10月25日	茶業会議所 会議室 参加者8名	・推進会議規約の制定 ・産地構造改革プロジェクトの実績の報告と共有 ・輸出促進プロジェクトの実績報告と共有 ・消費拡大県民運動プロジェクトの計画の共有
令和5年 3月20日 ※茶担当者会議内で実施	中央普及センター 会議室 参加者12名	・産地構造改革プロジェクトの実績と次年度計画の共有 ・輸出促進プロジェクトの実績報告と共有 ・消費拡大県民運動プロジェクトの実績報告と課題の共有
令和5年 9月4日	茶業会議所 会議室 参加者16名	・産地構造改革プロジェクトの実績の報告と共有 ・輸出促進プロジェクトの実績の報告と共有 ・消費拡大県民運動プロジェクトの計画の共有
令和6年 6月7日	農林水産部 ミーティングルーム 参加者12名	・産地構造改革プロジェクトの実績と計画の共有 ・輸出促進プロジェクトの実績報告と計画の共有 ・消費拡大県民運動プロジェクトの実績報告と課題の共有

※推進会議以外の場でも情報共有を進め、推進会議で取りまとめを報告

最後に

県として、伊勢茶振興の取組をさらに強化して取り組んでおります。

関係者の皆様とともに、より良い取組とすよう頑張ってまいります。

